

2024年度 光塩女子学院中等科 【第2回】

社会入試問題

2024年2月2日（金）実施

《注意事項》

- ① 試験開始の合図があるまで、この問題用紙の中を見てはいけません。
- ② 解答用紙に、受験番号と氏名を書きなさい。
- ③ 解答は、解答用紙に書きなさい。
- ④ 問題は、6ページまであります。

次の文章を読んで、以下の問い合わせに答えなさい。

日本の人口減少に歯止めがかかりません。世界全体では人口は増え続けており、2022年に1世界人口は（　）人をこえたと推計されました。その一方で、2人口増加率は下がってきています。ちなみに3国連は、人口が長い間世界最大だった4中国をぬいて2023年に（　5　）が首位になるとの見通しを発表しました。

日本の歴史では、大きな人口変動が何度かくり返されています。すべての時代を正確にとらえるのは困難ですが、6紀元前2400年ころまでに人口が約26万人に増え、その後しだいに約7万5千人まで減ったと考えられています。これが1回目の変動です。奈良時代に約600万人まで人口が増加しますが、7次の（　）時代には約500万人まで減少しました。これが2回目の変動です。そして8室町時代から江戸時代末期までの期間、なかでも江戸時代には人口が約3200万人まで拡大したようですが、順調に増え続けたわけではなく、9停滞した時期もありました。これが3回目の変動です。

現在は、10江戸時代末期から明治維新にかけて始まった4回目の変動期にあります。11総務省は、2008年に1億2808万人に達した日本の人口が122070年にはその当時よりも（　　）8700万人になると予測しています。

このような人口の変動はなぜ起こるのでしょうか。一般に、人口が増える時期には13食べ物やエネルギー資源を手に入れようとする人間の活動に変化が見られる傾向があります。反対に、人口が減る要因としては14自然災害や15感染症等の流行などが挙げられます。さらに現在の日本の急速な人口減少は、16価値観の多様化に対策が追いついていない点にも原因がある、と指摘されています。国連人口基金の事務局長は、「問題は、人口が多すぎる、少なすぎるではなく、希望する人数の子どもを、希望する間かくで産むという17基本的人権をすべての人が行使できているかどうかだ。」と述べています。人口政策は、人権を見すえて取り組むべき18世界的課題なのです。

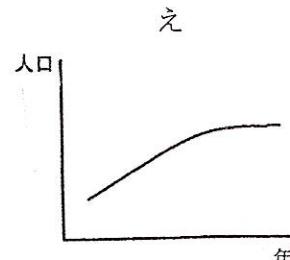
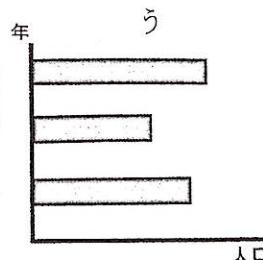
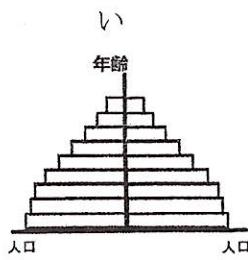
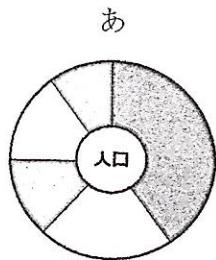
問1 下線部1について、(1)と(2)に答えなさい。

(1) 空らんに最もあてはまると考えられる数字を一つ選び、記号で答えなさい。

あ 60000000 い 700000000 う 8000000000 え 9000000000

(2) 2022年の世界の地域別人口では、東アジアと東南アジアの人口が合わせて約23億人で、世界人口の約30%をしめています。この波線部の内容を、解答用紙の帶グラフに表しなさい。

問2 下線部2を最もよく表すものを一つ選び、記号で答えなさい。



問3 下線部3について、(1)と(2)に答えなさい。

(1) 「国連」の正式名称を漢字で書きなさい。

(2) 「国連」に関する説明として、最も適するものを一つ選び、記号で答えなさい。

- あ 日本は、安全保障理事会の常任理事国である。
い 本部はアメリカのニューヨークにある。
う 日本が加盟したのは、21世紀に入ってからである。
え 国連総会は、全会一致でウクライナ侵攻を支持している。

問4 下線部4について、正しく述べたものを一つ選び、記号で答えなさい。

- あ 2023年から「一人っ子政策」を始めた。
い 国土の西海岸に大都市が集中している。
う 一党支配の国で、現在のトップは習近平である。
え 日本との北方領土問題が未解決のままである。

問5 空らん5に最も適する国名を答え、その国の場所を以下の地図の中から一つ選び、記号で答えなさい。



問6 下線部6の時代に最もあてはまるものを一つ選び、記号で答えなさい。

- あ 鎌倉時代 い 縄文時代 う 古墳時代 え 令和時代

問7 下線部7について、(1)と(2)に答えなさい。

(1) 空らんに最も適する時代の名称を答えなさい。

(2) (1)で答えた時代に最もあてはまるできごとを一つ選び、記号で答えなさい。

- あ 中国の都にならって平城京がつくられた。
い ^{じんしん}壬申の乱の結果、天武天皇が即位した。
う ^{たいらのまさかど}平将門が関東地方で反乱を起こした。
え 德川家康が征夷大將軍に任命された。

問8 以下に挙げる下線部8の期間のことがらを年代の早い順に並べかえなさい。

- あ 豊臣秀吉は、職業別の人数を全国的に調査して朝鮮出兵の兵力を調達した。
い 徳川吉宗のころの調査では、旗本が約5200人、御家人が約17000人だった。
う 島原・天草一揆の後、禁教目的の調査が始まり、人々の信仰が記録された。
え 応仁の乱が終わった年の京都の人口は、およそ4万人だった。

問9 下線部9は、だいたい江戸時代の半ばを指しています。この期間を示す場合に、最も適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

- あ 14～15世紀 い 15～16世紀 う 18～19世紀 え 20～21世紀

問10 下線部10の時期に最も関係する外国人の名を一つ選び、記号で答えなさい。

- あ ゼレンスキイ い ペリー う ザビエル え マッカーサー

問 11 下線部 11 は、国の「三権」のうちどれに所属しますか。以下の中から一つ選び、記号で答えなさい。

あ 司法権 い 社会権 う 立法権 え 行政権

問 12 下線部 12 の空らんに入る語句として最もふさわしいものを一つ選び、記号で答えなさい。

あ 3割増加した い 3割減少した う 3%増加した え 3%減少した

問 13 下線部 13 を表す以下のできごとを、年代が早い順に並べかえなさい。

- あ 当時の政府は、「おやとい外国人」を多くやとって工業化に力を入れた。
- い ナウマン象の狩りをしたり、木の実や貝などを採って食料にしていた。
- う 新田開発や鉱山経営、河川の治水工事などを行う大名が各地に現われた。
- え 律令制の下でつくられた戸籍に基づいて、口分田が割り当てられた。
- お 海底の土や、魚の胃の中からビニールやマイクロプラスチックが見つかった。

問 14 下線部 14 について、(1) と (2) に答えなさい。

(1) 3月 11 日と 9月 1 日に共通する「日本で起きた自然災害」を簡潔に述べなさい。

(2) 下線部 14 とは別に、「人災」という表現が使われる場合があります。この表現は、「人間の組織的な不注意や、すべきことをせずになまけていたせいで災害による被害がさらに拡大する状態」を意味しています。この状態に最もあてはまると考えられるものを一つ選び、記号で答えなさい。

- あ 海が荒れていたが、遠泳大会を強行したために多数のゆくえ不明者が出了。
- い 大雨警報を無視して車で出かけたところ、道路が混んでいて遅刻した。
- う 台風が近づいてきたため、楽しみにしていた運動会や遠足が延期になった。
- え ごみを捨てる曜日をまちがえたので、収集してもらえなかった。

問 15 下線部 15 について、約 100 年前の日本では、結核菌に感染する人が増加し、死者が年間 10 万人をこえるときもありました。この感染症が流行した背景には、急速な都市化がもたらした環境変化があると考えられていますが、現在は結核菌の広がりはおさえられています。その主な理由として、最もふさわしくないものを一つ選び、記号で答えなさい。

- あ 多くの国民が、結核菌に対する予防接種を受けるようになった。
- い 100 年前よりも国民の食生活が改善され、栄養状態がよくなつた。
- う 治療用の薬が開発され、医療機関で広く処方されるようになった。
- え 過密状態が解消され、都市に人々が密集して生活しなくなつた。

問 16 下線部 16 の背景として、最もあてはまるものを一つ選び、記号で答えなさい。

- あ 政治分野で活やくする女性や障がいのある人々などの割合が少ない。
- い 結婚や出産を理由に、すべての女性が仕事をやめている。
- う 物価の急な上昇により、人々の日常生活が厳しくなっている。
- え 男性は育児、女性は家事を中心に担当する考え方が定着している。

問 17 下線部 17 として、現在の日本国憲法に定められているものを一つ選び、記号で答えなさい。

- あ 選挙で投票しない人は、自分の権利を他人に売りわたすことができる。
- い 重大な罪をおかした疑いがある者でも、裁判を受けることができる。
- う 性のあり方について個性を尊重し、同性どうしの結婚を認めている。
- え 個人の著作物は、公共の利益のために無断で複写し、広めることができる。

問 18 下線部 18 に関連して、6 ページの資料 I・II を見て、ヨーロッパと日本に共通する課題について述べなさい。

[資料 I・II とも、国連 World Population Prospects 2022 より作成。
資料 II の生産年齢人口割合の値は、国連による推計（2030 年以降は予測値）。]

資料 I

主な国の 2021 年の合計特殊出生率（女性が一生の間に産む子どもの数の平均）

地域	国名	合計特殊出生率	地域	国名	合計特殊出生率
アジア	日本	1.3	北アメリカ	アメリカ合衆国	1.7
	マレーシア	1.8		カナダ	1.4
	サウジアラビア	2.4		ブラジル	1.6
アフリカ	ガーナ	3.6	中南アメリカ	ペルー	2.2
	ケニア	3.3		アルゼンチン	1.9
	モロッコ	2.3		オーストラリア	1.7
ヨーロッパ	イタリア	1.3	オセアニア	ニュージーランド	1.6
	スペイン	1.2		ツバル	3.2
	フィンランド	1.5			

資料 II

地域別生産年齢（15～64歳）人口割合の推移

